

第1回庄内町立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時：平成23年6月14日（火）18時30分～21時20分
- 2 開催場所：庄内町余目第二公民館 受講室
- 3 出席委員：小野寺姫、池田孝一、日向ゆき、齋藤すぎ、日野淳、小野寺博
- 4 欠席委員：渡部登美雄
- 5 事務局：図書館長、係長、主任
- 6 教育委員会：庄内町社会教育課長補佐、庄内町教育課指導主事

進行：主任

1 開会 主任

2 辞令交付 社会教育課長補佐

3 自己紹介

4 委員長及び副委員長の選任について

推薦により 委員長：小野寺姫 副委員長：池田孝一 選任

5 あいさつ

○館長あいさつ

前段に「庄内町子ども読書活動推進計画」推進委員会を開催し、引き続き図書館協議会を開催させていただきます。よろしくお願いいたします。

○会1 第1回「庄内町子ども読書活動推進計画」推進委員会

(18時30分～19時45分)

○その後 会2第1回「庄内町立図書館協議会」(19時45分～21時20分)

《庄内町立図書館協議会》

6 報告事項

- ・平成23年度庄内町立図書館運営計画について
- ・平成23年度庄内町立図書館協議会年間計画について
- ・平成23年度庄内町内藤秀因水彩画記念館運営計画について

《事務局報告》

○報告事項3つについて資料の内容説明

《委員の質問・意見》

特になし

7 協議事項

(1) 平成22年度庄内町立図書館事業評価について

- ①図書館運営事業(運営事業)
- ②図書館運営事業(読書感想文コンクール事業)
- ③図書館運営事業(読み聞かせ事業)
- ④生涯学習推進事業(図書館)
- ⑤内藤秀因水彩画記念館運営事業(運営事業)

《事務局報告》

○(1) 資料の内容説明

(委員長) 平成22年度の図書館の事業評価について、全般的でいいので質問、意見をいただきたい。

《委員の意見》

(委員) 全般的に学校との連携とか、子ども読書活動だけに片寄っているように聞こえるが、一般住民を対象とした事業はどのようになっているのか。また、来館者数とか数値が気になっているように聞こえるが、果たして数字の信ぴょう性はどうか。天候状況に左右されないで利用してもらえるようにというが、子どもは年々成長し、高校生も県外に出ていくとか、人口の動きがあるので、あまり数値にだけとられることはないのではと思う。

(委員) 親しまれる図書館をめざすということはどういうことか。最近私語が多くなった。私は、私語は雑音と受け止める。小さい子や中学生は実際うるさいと感じる。

(委員) 多くの人が集まればいいと思うが、いっぱい集まって子どもたちが騒ぐと、勉強する人や閲覧室にいる人がうるさいと思う。集まってくるとエスカレートしてくる。中には、男女が寄り添ってみえる場合もあり、そういう現状では好ましくない。

(委員長) 庄内町子ども読書活動推進計画のパブリックコメントに意見はなかったが、知人との会話の中で、施設の面で他市町の図書館の方がいいから他を利用するのだとか、庄内町はなぜ月曜日が休館なのとかということが出る。週末に何冊か借りて本を読むというのはとてもいいことだと思うが、リクエストしても本が来るのが遅いとか、新刊はなかなか借りられないとかということも伝わってくるので、一般の利用者の声が見えていないのではないだろうか。

(指導主事) 最近の中学生は、個人の家遊びに行くより、公共の施設で交流するのが気楽であるようだ。マナーが悪い、他の町でも困っているきくことがある。図書主任会を通して、一般の町民に迷惑はかけられないということ話して対応をお願いしている。

(事務局) 昨年度にも図書館の施設内において、さまざまのトラブルがあった。建物に対するいたずらなどもあった。それらの点を図書主任会の際に発生した事例などを伝えており、共に信頼関係を築きながら、支えていただいている。

(館長) それは極端な例であって、図書館の中にいると、そんなに大きな声で話しているのではないけれど、構造上の問題があり、小さい声でもかなり響く。図書館は必ず本を借りなければいけない施設でないのだが、ちょっとした相談をするというようなことも来館者に迷惑をかけることにつながっている面もある。

(委員) 一般の人がまざって、子どもたちに注意すると効果がある。一般閲覧室のつい立てが高く、向こう側のマナーが悪くても隠れて見えないので、注意できない。もっとつい立てを低くしたらどうだろうか。

(館長) 記念館では、人のいることが少ない時間帯もあり、マナーが守られにくい状況のときもある。

(事務局) みんなが気持ちよく利用しての公共施設なのに、苦情があり、反省しきりである。次の手立てに結び付けたい。建物も現代のニーズにあったものが求められている。中高年の方の居場所がない、場所的に狭い、月曜日は休みであることなど。また、施設の構造上できない部分も多い。カウンターからの死角部分も多い。

(委員) 休館日を月曜日でなく、火曜日とか水曜日に変更はできないのか、検討することは可能なのか。

(館長) 確か村山市は、町の全体の施設の休日が変わったと思った。この休日のことも図書館単独でできるのかできないのか。また、全日開館するには、それなりの職員の人数が必要となるので、図書館だけの検討改善はできない。

(委員) 今の図書館は学校との連携は予想以上に進んでいると思う。その半面、町立図書館に行っても、「見る本がない、本の動きがない、週刊誌が減った」とか言う人もいるが、酒田・鶴岡ではそれなりの予算措置がなされているようだ。一般の人たちにとって、役に立つ図書館、楽しむ図書館、仕事で役に立つ、生きていく上で役に立つ図書館となり、信頼を寄せてもらうには、この人は何のためにきたのだろうと考え、お客さまとの短い会話の中で何を求めているか考えて対応することが大事だと思う。

(委員) 他の市町より週刊誌の数にしてもいろいろ不足である。図書館はこんな利用の仕方があると広報で紹介してもらおうとありがたい。

(事務局) 子ども読書計画の推進委員会資料で確認した時に、児童書の蔵書は26%で、7割以上は一般書であった。一般の方々がリピーターとして支えてくれている、このことを忘れず、一般書は選書のかなめ、おろそかにしてないけないと考えている。システムだけに頼るのではなく、目と目を合わせ、対面を大事にする基本スタンスで対応したい。

(委員) 自分の気持ちをわかってくれたというのが大事。今子どもたちは、友達2人で出会うところを探している。この場所がいいとなれば、集まりやすい巣になる。記念館もじっくり内藤画伯の絵画を鑑賞したいという人たちがくるので、きちんと管理していただいたほうがいい。

(委員長) みなさまからたくさんのご意見いただきましたので、図書館の事業評価にこれらの意見を活かしてくださるようお願いいたします。

(2) その他

特になし

8 その他

《事務局説明》

次回開催日程 平成23年10月7日 山形県図書館研究大会 会場 鶴岡市出羽庄
内国際村 庄内地区が当番地区のため、庄内町立図書館でも協力。

9 閉会 主任